

大学入学共通テスト

+

2次試験(大学独自の試験)

= 総合得点

出願書類の配布
2023年9月1日(金)より

翌日
必ず
解答を正確に
控えよう！

**出
願**
9月末
～10月初旬

**受
験**
2024年
1/13(土)・14(日)

自己採点

●新聞(朝刊)に
解答・配点が掲載される。

**平均点等の
中間発表**
～1/17(水)予定

出願は各高校で取りまとめて行う。
先生の指導にきちんと従おう。

全国一斉に実施される。
自分が受験する科目を選んで2日間の日程で受験。
受験会場は高校単位で決められている。

大学入学共通テスト実施の翌日(1月14日・15日)の朝刊に解答と配点が公表される。それに従って自己採点し、自分の得点を把握する。各社のデータリサーチに提出すれば志望校での自分の位置と可能性が判定できる。

**国公立大学
出願**
1/22～1/31
(前期・中期・後期とも
この期間に出願する!)

受験
前
期
日
程
標準実施日
(前期日程 2/25～)
(中期日程 3/8～)
(後期日程 3/12～)

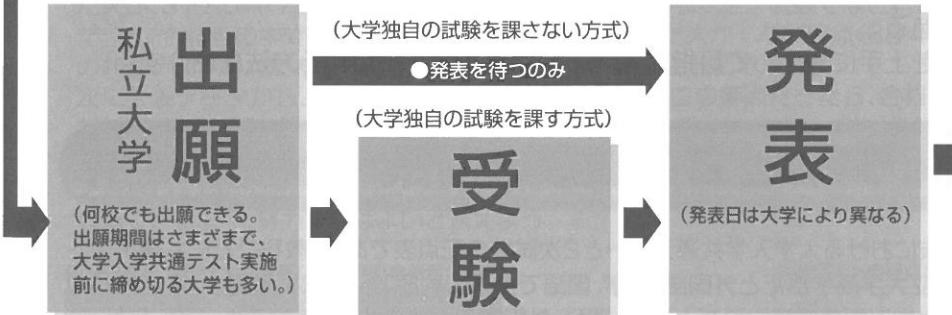
発表
後
期
日
程
(前期日程 3/1～10)
(中期日程 3/6～10)
(後期日程 3/20～24)

入学手続
(前期日程 3/15まで)
(中期日程 3/27まで)
(後期日程 3/27まで)

国公立大学
合否の判定

合否の判定は、大学入学共通テストの得点と2次試験の得点を合計した総合得点で行われる。大学入学共通テストの科目ごとの配点や2次試験の配点は個々の大学・学部が決めているので、大学入学共通テストのウェイトが高いところや2次試験のウェイトが高いところなど、さまざまである。

私立大の大学入学共通テスト利用入試



大学入学共通テスト受験前に出願を締め切る大学と大学入学共通テスト受験後(自己採点後)に出願できる大学があるので注意。

私立大学
合否の判定

私立大の「大学入学共通テスト利用入試」は、大学入学共通テストの得点だけで判定する大学がほとんど。こうした大学では出願すれば発表を待つだけ、ということになる。募集定員は非常に少ないので、実際の合格者数は多いところでも定員の10倍も出している場合もあり、競争率は一般選抜より低い場合が多い。

■令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	解答方法等	試験時間(配点)
国語		「国語」	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。		マーク式	80分(200点)
地理歴史		「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	「倫理、政治・経済」は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	マーク式	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分)(200点)
		① 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅰ・数学A」は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、图形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	マーク式	70分(100点)
数学	②	② 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	「数学Ⅱ・数学B」は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕 「簿記・会計」は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、財務会計の基礎を出題範囲とする。 「情報関係基礎」は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の3教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	マーク式	60分(100点)

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	解答方法等	試験時間(配点)
理科	①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」			左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	マーク式 【理科①】2科目選択 60分(100点)
		② 「物理」「化学」「生物」「地学」		A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	マーク式 【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分)(200点)	
外国語		「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	「英語」は、「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「表現表現Ⅰ」を出題範囲とし、「リーディング」と「リスニング」を出題する。 なお、「リスニング」には、聞き取る英語の音声を2回流す問題と、1回流す問題がある。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。ただし、科目選択に当たり、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	マーク式 【英語】 リーディング 80分(100点) リスニング 60分(うち解答時間30分)(100点) 【ドイツ語】 【フランス語】 【中国語】 【韓国語】 筆記 80分(200点)	

- 備考1「 」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上設定されている科目を表し、「 」はそれ以外の科目を表す。
 2 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。
 3 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目間に答える回数等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。
 4 理科①については、1科目のみの受験は認めない。
 5 外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を解答する。
 6 リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの動作確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。